

Research And Development

株主・投資家のみなさまへ

第34期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



日本ラッド株式会社

本社：東京都新宿区四谷4-16-3

TEL：03-5919-3001 FAX：03-5919-3310

<http://www.nippon-rad.co.jp/>



日本ラッド株式会社

証券コード/4736



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当社に対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第34期(平成16年4月1日から平成17年3月31日)の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、創業以来エンドユーザーシステムの構築、メーカーの製品開発、SI事業者へのシステム構築支援など、幾多の分野のシステム開発にかかわり、お客様とともに未来を築く事に邁進して参りました。その間、コンピュータ技術の発展は社会インフラの驚異的変革をもたらし、従来の守備範囲をはるかにしのぐ新しいマーケットが生まれております。当社もこのマーケットに対するサービスを提供していますが、必ずしも適切な対応が取れていない部分もあり、この膨張した「コンピュータ社会」に対応を迫られております。当社は第34期において、固定資産の減損に係る会計基準の早期適用を始めとした資産のリストラを行い、財務上のリスクを概ね処理いたしましたので、次期以降、長期的な収益基盤を確立し、企業価値を向上させるため、IT技術の成長分野に積極的な投資を行ってまいります。中期的なビジネスモデルとしては、当社が従来から行っているお客様のご要請に基づいたシステム構築(プランニング・コンサルテーション、デザイン決定支援、ソフトウェア開発)はもとより、新規の事業目標として映像装置関連、ネットワーク、セキュリティ及び認証技術関連、地図情報応用関連などを指向してきた結果、各分野における当社の位置付けが明らかになりつつあります。今後は当社の強みを生かしたユニークな位置を占められるよう、既存品・既存サービスについてはアプローチの改善を行うとともに、新たな製品及びサービスの提供を行ってまいります。日々活動しているソフトウェアの設計製造の能力を維持しつつ、システムの基本デザイン、資源の調達、設計開発、導入、運用までのすべての分野にわたって、顧客にとって最適なサービスを提供してまいります。またこれを追求して行くことによって、当社グループの未来が切り開かれて行くこと信じております。

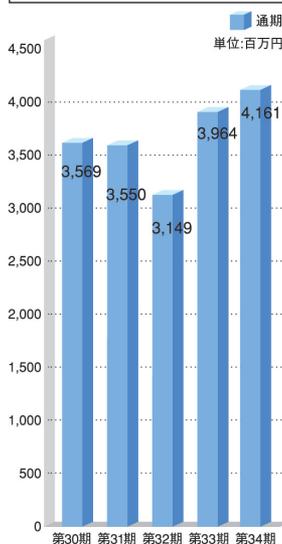
株主の皆様におかれましては、なにとぞ倍旧のご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

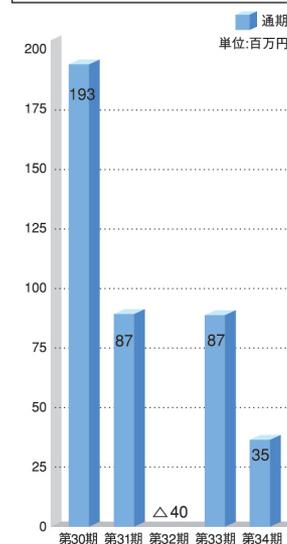
代表取締役会長
大塚 隆一

代表取締役社長
小中 政義

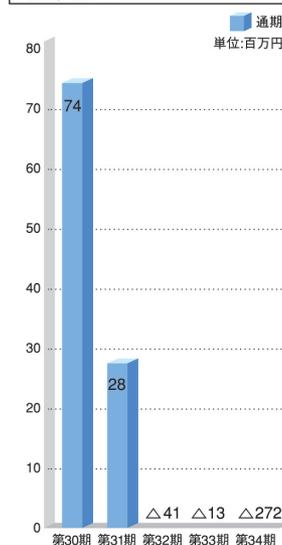
売上高



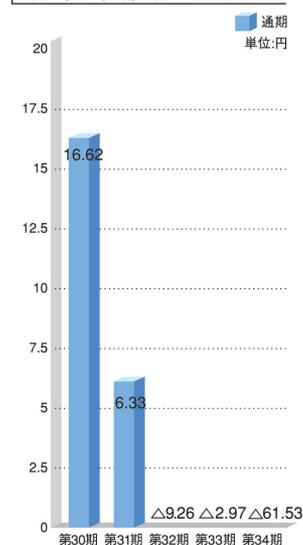
経常利益



当期純利益



1株当り当期純利益



*第34期事業報告書より、連結での財務ハイライトを掲載しております。
●グラフは目安であり、見やすく表示してありますので、ご了承ください。

日本ラッドはISO9001:2000を取得いたしました

日本ラッド株式会社は、真に人間に役立つ環境を構築していく会社を目指します。このたび、平成17年3月にISO9001:2000を取得いたしました。今後もお客様の満足度を上げ、より良いシステムの構築が出来る様、きめ細かなプロジェクト管理を行なうと共に、全社員の自己啓発を促し、錬度の高い社員育成を行なってまいります。



本社集約移転

業務効率化、並びに社内情報流通の円滑化を図る為、平成17年1月24日(月)より、本社、並びに東京開発センター、麹町分室、我孫子分室を集約し、新宿区四谷に移転いたしました。



人材育成に力を入れています

ソフトウェア開発は人材が命です。当社では従来から新卒新入社員に対しては、内定時から入社後にかけて「eラーニング」により、コンピュータ知識の習得や技術のスキルアップを図っておりますが、本年度からこれに加えた新しい試みとして、月1度の内定者集合研修を実施しております。グループ単位で相互のコミュニケーションを深めつつ、身近なテーマで自分達が手掛けたいプロジェクトを立案し、情報収集や分析・発表方法の工夫をし、入社後に社内でのプレゼンテーションを行いました。名案・珍案が百出し、先輩顔負けの発表もあり、今後の活躍が楽しみとなっております。



株式会社オークネット様「花きブロードバンドオークション」システム

ビジネスシステム第2事業部の取組みで、花の仕入れの競りに参加できるシステム「花(か)きブロードバンドオークション」がインターネットでお手元のパソコンから利用できるようになりました。同システムは以前まで、衛星通信を利用し、専用端末で使用するものでしたが、インターネット環境があればどこでも競りに参加できるよう、このシステム構築を行いました。衛星通信を利用していたものと同様に、音声・映像・文字情報も全てリアルタイムでご利用いただけます。



高品質デジタルコンテンツ配信システムC-narioの販売を開始

SI事業部では、商業施設や公共施設等に見られるモニター画面上に、CM映像、写真、文字テロップ等を流すシステム「C-nario(シー・ナリオ)」の販売を開始いたしました。ハイビジョン対応の高画質映像再生が特長で、音声・画像・文字等を組み合わせたコンテンツの作成、遠隔地の店舗等複数拠点への配信、スケジュール再生を行うことができます。各種公共施設や企業でのインフォメーション、店舗でのセールスプロモーション、アミューズメント施設でのショーイベントコントロールなど、様々な用途に対応したデジタル情報配信システムです。



住宅金融会社向け音声窓口システム

千葉技術センターでは、住宅を購入する際にローンを組んだお客様に、より簡単に時間を気にせず利用して頂く為に、残高照会等をインターネットで行うシステムを作成しておりました。同時に並行して携帯電話や固定電話から音声での残高照会や繰上げ返済等が行えるシステム「IVR(音声自動応答装置)システム対応アプリケーション」を開発いたしました。この音声案内システムは、NTTコミュニケーションズ様が提供する「Vポータルシステム」を利用したもので、弊社で作成したインターネットサービスとも連動した動作を行います。これにより、目の不自由な方やインターネットに接続できない環境にある方や、出先で急に確認したいと言う時にも対応が出来るようになりました。

*IVR:Interactive Voice Responseの略



トピックス

小規模小売チェーン向け インターネットEDIシステム ASPサービスの構築

子会社の日本ラッド情報システム(株)は、免震ビルでの365日24時間有人管理により、安心してご利用頂けるiDC・ASP事業をご提供しております。最近では、これまで「専任の担当者が置けない」「セキュリティ管理ができない」などの理由でIT化が遅れていた小規模小売チェーン向けに「インターネットEDIシステム ASPサービス」を構築いたしました。専任管理者の確保・教育、ソフトウェア及びハードウェアの資産管理が必要となり、保守・メンテナンスなど維持管理負荷も大幅に軽減することができます。



デジタルタコグラフを利用した輸配送システムの提供

子会社のモバイルリンク(株)では、平成15年の物流2法改正に伴い、デジタルタコグラフを使用したシステムの開発及び販売に、今年度は力を注いでまいりました。法律の規制だけではなく、ECO(環境保全)、グリーン経営事業者認定の観点からもシステムの需要が高まっております。併せて、貨物運送事業者のETC利用の強制化(別納プレートの廃止)も後押しとなり、平成16年度期は大幅な受注・売上増となりました。最近では、以前同業他社より導入はしたものの、パッケージのカスタマイズに対応してもらえず、困らている会社のコンサルティングとシステム提案を依頼される案件も出てまいりました。来期も今期以上の成果を出すべく、営業・開発の人員を増員、営業・サポート拠点の増設と販売代理店の拡大を図り、受注案件の増、受注から納品までのレスポンス向上とサポートの充実を行ない、同業他社との差別化を図ってまいります。

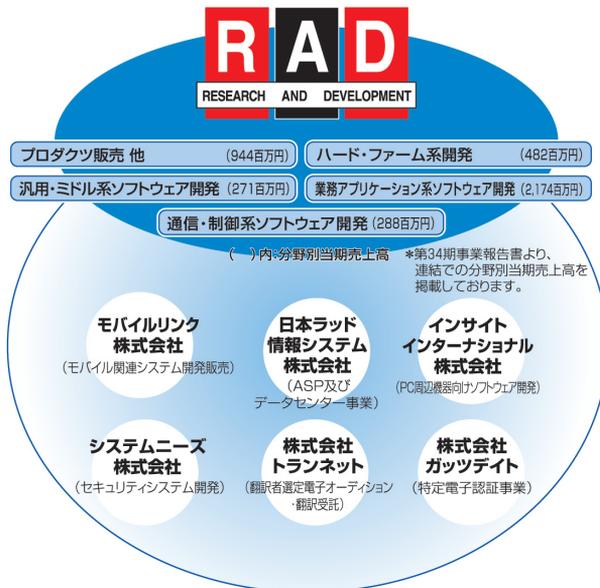


インサイトインターナショナル(株)の新規取扱事業

子会社のインサイトインターナショナル(株)は、パソコンのセキュリティ分野に注目しています。パソコンからの個人データの盗難や流出が社会的に問題となっている中、平成17年4月より、個人情報保護法が施行されました。企業または個人情報の保護を唱える声が高まり、業界ではパソコンにTPM(Trusted Platform Module)を搭載するのが標準になってきております。そこで同社では、日本で最初に米国Wave Systems社と総販売代理店契約を結び、従来よりもパソコンのデータ保護を格段に向上させたTPM対応のソフトウェアを、国内大手パソコンメーカーに販売することになりました。このソフトウェアは、パソコンからデータの盗難を防ぐばかりでなく、インターネットを通してのウイルスの感染も予防することができます。



インテグレーション&シナジー



インターネットの普及、ネットワークサービスへの企業資本の投入、各企業でのイントラネット整備に伴い、一般社会とソフトウェア開発との関わりは以前にも増して緊密になりつつあります。それに伴って、当社とお客様との関わりも、これまでのバックオフィスシステムを通じた間接的な接点を超えて、お客様がビジネス最前線でお使いになるシステムを提供する機会が増しております。一般社会で直接目にする事のない汎用・ミドル系ソフトや、その存在を認識することの無いハード・ファーム系のシステム開発を、コストパフォーマンス良く行ってだけでなく、開発スピードを要求されるマーケット最前線に適應できる先進のシステムを導入、提供しています。また、当社で開発した製品・コンセプトをベースに国内外のパートナーから調達したソフト・ハードを加えたソリューションを提供するビジネスも、当社のビジネスとして重要な部分を占めるに至っています。

先端分野では知的財産権保護を主眼とする時刻認証システム、バイオメトリクス、ネットワークセキュリティ、地理情報、地図描画、移動体把握、計算流体力学などの技術を中心としたビジネス開拓、製品提供を行っています。また、このような技術を実証、提供するための場として、インターネット・データセンターを運営し、お客様と共に前進するASP事業を目指して活動しています。

このような多岐にわたる分野において当ラッドグループは活動を続けており、新しい技術に対する挑戦の精神と、これまで培ってきた経験を生かした安全なシステム提供を目指して、積極的な姿勢で業容の拡大に取り組んでいます。